

安全・安心・住みよいまちづくり

ネットワーク

第18号

発行日 平成26年8月20日

発行 白石地区
ネットワーク協議会

責任者 情報交流部会長
菱沼洋一郎

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 861-8270



会長就任のご挨拶

● 白石地区連合町内会 白石地区ネットワーク協議会

会長 浅沼 英樹

1 はじめに

去る4月26日（土）の白石地区連合町内会総会と5月16日（金）の白石地区ネットワーク協議会の総会におきまして、中澤迪也前会長の後任として、連町会長とネットワーク協議会の会長に選任されました浅沼です。白石地区連合町内会は昭和31年に設立され、今年で58年目を迎えました。白石区の8つの連合町内会の中で一番規模が大きく最も歴史と伝統のある連合町内会です。

2 町内会の加入促進について

白石区の町内会加入率は札幌市内10区の中で最下位となっていますので、白石地区連町は3年前より加入率の向上に総力を上げた結果61.2%が63.7%（平成26年1月1日現在）と2.5%増加することができました。今後は加入率の低い集合住宅（特に賃貸住宅）の加入促進をはかり、加入率の向上に努める所存です。

3 高齢化社会を迎えての見守り活動について

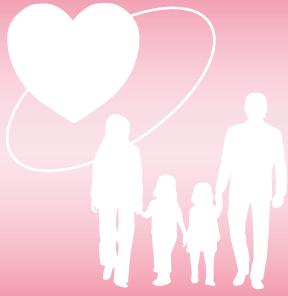
我が国は今4人に1人が65歳を超え、超高齢化社会に入りました。昨今は孤立死問題が大きな社会問題になっています。単町、連町とも福祉推進委員・民生委員が中心と

なり、見守り活動により、社会的に弱い立場にいる人達に手を差し伸べることにより、安心・安全に暮らせる地域社会が求められています。

4 ネットワーク協議会について

平成16年3月に設立された白石地区ネットワーク協議会は11年目を迎えました。6部会の事業の主なものとして、情報交流部会が実施している「まちづくりふれ愛音楽会」（第6回目参加者500名）、青少年女性部会の「雪であそぼうin南郷」（第9回目参加者500名）、10年前に始めた「通学パトロール隊」も地域に定着した事業として高く評価されています。体育振興部会の「いきいき健康まつり」（第10回目参加者300名）、平成20年に立ち上げた生活安全部会の「青パトの会」は、地域における防犯活動により、安心・安全な街づくりに貢献した事業として札幌地区防犯協会連合会より、7月16日に表彰を受けました。（4頁参照）

ネットワーク協議会の事業もその内容を検討し、評価を続けながらさらなる白石地区の大切な事業として発展しなければならないと思います。今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。



町内会加入 促進の取組み

● 白石区本通親和会 会長 白石 俊信

札幌市が平成24年度に加入促進運動3年計画を重点課題とした。白石地区連合町内会もその運動に積極的に取り組み、平成24年8月の総合役員会で我町内会も取り組むことに決定し推進委員会を設置した。

会長・副会長・総務・経理部の10名で構成し、町内を3ブロックに分けそれぞれが責任を持って、マンションの居住者は勿論、未加入世帯や未加入アパート、管理人やオーナーにも働き掛けを実施し、きめ細やかに行った。また、チラシを2回に分けて2000部を作成し全戸配布した。

平成25年度も同じチームで、促進活動を推進し、加入促進に取り組んだ結果一定の成果を上げることが出来た。

● 加入率の推移（白石区本通親和会） ●

	世帯数	加入世帯	加入率
24年	1,073	610	56.69%
25年	1,083	675	62.33%
26年	1,083	706	65.19%

加入促進活動を行う事により、より町内会の隅々まで知る事となり、地域でのふれあいや交流の機会が増え、いっそう住民同士の繋がりが強くなったように思える。

今年は3年目で最後の加入促進期間と認識してそれぞれの役員が機会あるごとに話し合いを進めています。少しでも良い結果が生まれることを期待しております。

平成26年7月16日



■ 白石地区連合町内会「町内会加入促進委員会」の会議風景



新校舎に込められた願いと新しい交流空間

● 南郷小学校長 川崎 真

昨年の6月より建築を始めた校舎が3月末に完成しました。この4月より、新校舎での学校生活が始まりました。旧校舎の解体と新校舎での生活が同時に進んでいたため、喜びと寂しさを同時に感じながら、1学期を過ごすことになりました。

7月18日には落成記念式典を盛大に開催させていただきました。新校舎落成に際しましては、皆様からの温かいご支援や深いご理解をいただき、心より感謝申し上げます。

ここで、少しでも新校舎に込められた願いと新しい交流空間について紹介します。1階「なかよしホール」（多目的スペースで、交流、イベント、集会などで使います。）

内装に道内産木材を使い、森の中に居るような木立をイメージした空間です。開墾時に樹木を切り倒して開拓した先人たちのフロンティア精神を子どもたちに受け継いでもらいたいという願いが込められています。



■ 2階「デン」（DENには、隠れ家、巣穴、小部屋等の意味があります。）

子どもたちの交流空間として設置された、低学年用隠れ家型ひそひそ話しのスペースです。旧校舎の円形トイレやトトロに出てくる切株のデザインを取り入れています。切株の大小でひそひそ話をする人数の変化に対応しています。



■ 3階には、高学年ステージ型、談笑、発表の場として利用するDENがあります。

現在は、12月末までの予定でグラウンドの造成工事が行われています。年内にすべての工事が終わる予定です。是非、新校舎にお立ち寄りいただければ幸いです。

備えあれば 患いなし

● 防災部会長 石藤 政昭

東日本大震災から、早いもので3年経過しました。震災からの復旧・復興はまだ道半ばでしょうか。

私たちの周りにも、台風や地震・豪雪、豪雨等による災害が常につきまっています。

昨年はリニューアルオープンした、市民防災センターでいろいろな災害の模擬体験をし、札幌市危機管理対策室担当職員の方を講師に迎え地震・風水害・土砂災害の基礎知識を学びました。この中で、札幌市は東日本大震災よりも、阪神・淡路大震災に近い、直下型（月寒断層）地震を想定していることがわかりました。

今年度の防災部会研修会は昨年の講習を踏まえ基本的な事柄を中心に進めようと思っています。各町内会が「自主防災組織として災害に対する備えを行うために必要な知識を習得する」いわゆる「日頃の備



行事予定

9月7日(日)

第10回白石地区いきいき健康まつり
主催 白石地区連合町内会・ネットワーク協議会
会場：白石小学校体育館、グラウンド

10月5日(日)

第7回「まちづくりふれ愛音楽会」
主催 ネットワーク協議会・白石地区連合町内会
会場：白石中学校体育館

10月31日(金)

防災研修会
主催 白石地区連合町内会・ネットワーク協議会
会場：白石会館

1月予定

白石・雪であそぼうin南郷
主催 ネットワーク協議会
会場：南郷丘公園

え」のための研修会を開催します。各町内会において自主防災組織はありますが、現状として全ての町内会が活性化をしているとは言えないのが現状だと思います。

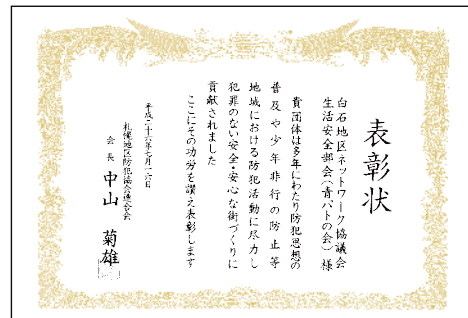
阪神・淡路大震災を始め、過去の大規模な災害の直後は、行政や防災関係機関のみによる救助行動では対応しきれない報告があります。

札幌市においても、消防車が175台、救急車は31台でありますので全体の救助活動では対応しきれず、市民や家族、企業における「自分の身は自分で守る（自助）」「自らの地域は自らの手で守る（共助）」の取り組みが極めて重要になってくると思います。

私たちは、自然災害の発生を防ぐことはできませんが、日頃から「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災知識を持って、いざというときには地域の皆さんがお互いに協力し、助け合うことにより、被害を軽減することができる、第一歩に出来れば幸いです。

平成26年7月16日

生活安全部会(青パトの会)が札幌地区防犯協会連合会より表彰されましたのでお知らせいたします。



編集後記

今年は特に暑い日が続きますが、皆様には地域の活動にご活躍のことと思います。気候の不順もあり、健康には留意されますようお願いいたします。

今年も来る10月5日(日)に第7回の「まちづくりふれ愛音楽会」を開催する予定です。皆様にはなにかと協力をいただくことと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

情報交流部会一同